

テーマ別調べ方ガイド



IT パスポート試験 に挑戦する



★ 関連キーワード

IT
ネットワーク
セキュリティ
システム構築

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「IT パスポート試験(i パス)」とは？

「IT パスポート試験(Information Technology Passport Examination. 以下、i パスとする)」は、独立行政法人情報処理機構(Information-technology Promotion Agency. 以下 IPA とする)が実施する「情報処理技術者試験」の 1 つで、国家資格として定められています(下図参照)。中でも i パスは、情報処理技術者試験のレベル 1(レベルが高いほど難易度が高い)に該当します。i パスを合格できれば、職業人及びこれから職業人となる者が備えておくべき、IT に関する共通的な基礎知識をもち、IT に携わる業務に就くか、担当業務に対して IT を活用していこうとする者である、と証明することができます[1]。



情報処理推進機構の試験区分から引用[1]

令和5年度上半期の i パスの合格率は約 51.1 %です[2]。i パスの試験範囲は、システム開発などのテクノロジー分野と、サービス運用やシステム監査などのマネジメント分野、さらに法務・経営やシステム戦略などのストラテジー分野の 3 分野から構成されます。i パスは基本的な IT 知識を問う問題が多いので難易度としてはそれほど高くはないものの、合格には全体で 60%以上の得点率かつ各分野で 30%以上の得点率をとる必要があります。i パスの試験方式はコンピュータを使った CBT 方式で、受験者が会場を選択して随時受験することが可能です。本資料をご覧になっている皆さんは、「内定先の企業から取得するように言われた」「就職活動に備えてとってみようかな」という方が多いと思います。ぜひ比較的時間に余裕がある学生時代に、i パスに挑戦してみてください。本資料がその一助になれば幸いです。

[1] IPA の試験要綱・シラバス (<https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/gaiyou.html>)

[2] IT パスポート試験 統計情報 (<https://www3.iitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/openinfo/statistics.html>)

1-2. 「IT パスポート試験」を取得するメリット

① IT知識の基礎固めと最新の IT 技術に関する知見に触れることができる！

⇒ iパスは基本的なIT技術に関して幅広く出題されるので、iパスの勉強を通してIT知識のベースを固めることが可能です。iパスの学習で培ったIT知識をベースにして、データを扱う日々の作業に活用することや、より上位の資格に挑戦する際の足掛かりにすることができます。また、iパスは定期的に試験範囲の一部がアップデートされることが多く、最新のIT技術に関する知見を手軽に得ることができます。

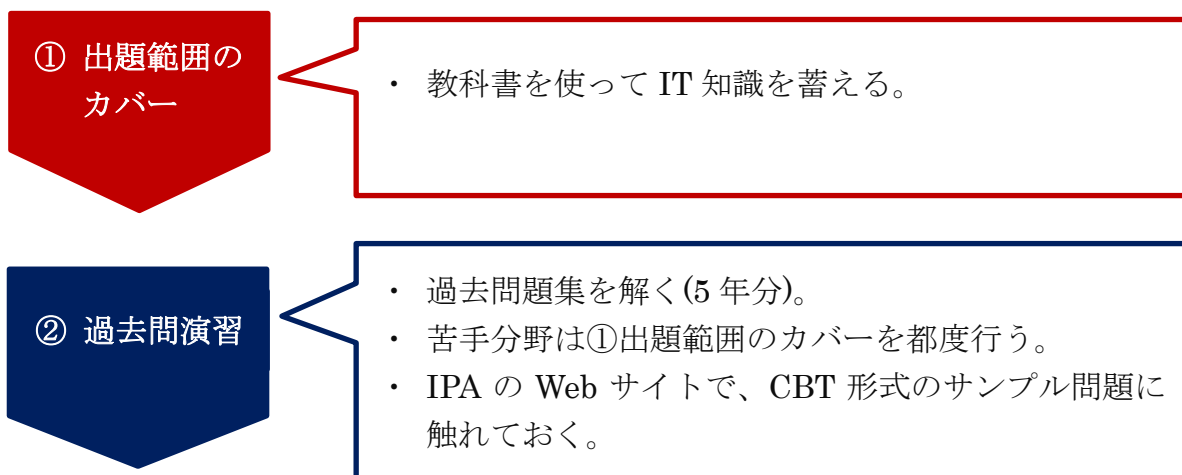
② IT業界に関わらず様々な業界で評価されている！

⇒ IT企業ではiパスレベルの基礎知識を持つことは当然とされており、入社するまでにiパスの取得を課せられることが多くあります。IT業界以外の企業でも、近年の高まるIT人材の需要から、iパスの取得を推奨されるケースが増えています。iパスはIT業界に関わらず様々な業界で評価されており、就職活動や将来のキャリアパスの構築に役立てることができ

1-3. 学習の流れ

IT 初学者の i パスの学習時間は、約 180 時間であると言われています[3]。そこで、IT 初学者が効率よく i パスを取得するために、必要な学習の流れを大まかに説明します。

[3] 資格の学校 (TAC https://www.tac-school.co.jp/kouza_joho/joho_ip/ip_study_time.html)



以上を 8: 2 の割合で進めていくのが王道です (IT 経験・知識の有無などで個人差はあります)。特に IT 初学者は、IT 知識がほとんどない状態から勉強を始めると思います。勉強を始めてすぐは、IT 知識をインプットすることに精一杯で時間はかかると思いますが、焦らずに①出題範囲のカバーを入念に行いましょう。

1-4. 学習するにあたってのポイント

i パスの学習をする上で最も重要なことは、苦手分野を作らないことです。i パスでは、テクノロジーとマネジメント、ストラテジーの 3 分野のうち、1 つの分野でも得点率が 30 %を下回ると、3 分野合計の得点率が 60 %を超えていたとしても、強制的に不合格になります。したがって、まずは教科書等を使ってIT技術の基礎固めを行いましょ。また、i パスは最新のIT技術に関する問題が出題されやすい傾向があります。過去問ばかりにこだわらず、IPA の公式サイトで公開されているような、新しい技術に関する問題について対策をしておくことが重要です。

2. 学習用資料

ここでは、i パスの受験者の多くが使用してきた学習用資料を紹介しま。i パスでは毎年、最新の IT 技術に即した問題が出題されるので、できるだけ最新版の参考書を入手することを推奨しています。

2-1. 教科書

ここでは、おすすめの教科書を紹介しま。

■ キタミ式イラスト IT 塾 IT パスポート / きたみりゅうじ 著

基本的な IT 知識をイラスト中心で分かりやすく解説してくれるので、IT 知識に自信がない人でもすらすらと学習することが可能です。網羅性が高く、内容も充実しているので、辞書的に使用することも可能です。本書は非常に厚みと重さがあるので持ち運びするのは難しいですが、持っておくと安心できる教科書です。

■ 栢木先生の IT パスポート教室 : イメージ&クレーバー方式でよくわかる / 栢木厚 著

こちらもイラストや図解中心の構成で IT 初学者でも楽しく IT 知識を身に付けることが可能です。また、節ごとに確認問題が掲載されており、一冊で IT 知識のインプットとアウトプット、両方の力を伸ばせるオールインワンタイプの教科書です。

※令和 5 年版は、【書誌 ID=2004552725】総合図-A 棟 2 階キャリア支援図書 007.6||KAY||2023

■ 徹底攻略 IT パスポート教科書+模擬問題 / 間久保恭子 著

試験で出題されやすい分野を中心にコンパクトに解説してくれます。また、アイコンで識別された側注を読むことで、足りない知識を補足してくれる点が本書の特徴です。演習問題もついているので、インプットした知識の定着度を測ることもできます。

※2019 年度版は、【書誌 ID=MC000174673】電子ブック

2-2. 過去問題集

ここでは、おすすめの過去問題集を紹介しま。

■ かんたん合格 IT パスポート過去問題集 / 間久保恭子 著

過去に i パスで出題された問題とその解答を分野ごとに集めた問題集です。発売から 1 年以内の間であれば、過去の試験をもとに出題頻度の高かった単語を集めたシラバス単語帳と、過去問 5 回分を追加ダウンロードすることが可能です。

※令和 4 年度春期版は、【書誌 ID=MC00353933】電子ブック

■ IT パスポートパーフェクトラーニング過去問題集 / 五十嵐聡 著

直近の 4 回で出題された過去の問題に加えて、最新の出題傾向にアップデートした 2 回分の模擬問題の計 6 回分を収録した問題集です。平成 21 年の春期から令和元年の秋季の間に出題された問題を全て PDF 形式でダウンロードすることが可能で、合わせて計 2800 問にチャレンジすることができます。

※令和 3 年度<下半期>版は、【書誌 ID= 2004523519】理工学図-東館 1 階キャリア支援図書 007.6||IGA

2-3. 参考にできる Web ページ

ここでは、参考にできる Web ページを紹介します。i パスに関する Web ページは非常に多く存在するので、ここで紹介するもの以外にも有用な Web ページがあるかもしれません。

■ IPA 独立行政法人 情報処理推進機構 (<https://www.ipa.go.jp/index.html>)

情報処理技術者試験を実施している IPA の公式 Web サイトです。受験案内で試験要綱やシラバスを確認することができ、受験の申し込み手続きをすることが可能です。さらに、本番さながらの CBT 方式のテストを擬似的に体験することができます。合格発表は、こちらのサイトで確認することになります。

■ IT パスポート試験ドットコム (<https://www.itpassportsiken.com/>)

試験の概要や出題範囲など、この試験を受験するにあたって重要なポイントをまとめてくれているサイトです。『過去問道場』と呼ばれる完全解説付き Web 問題集では、過去に出題された問題について演習することや、間違えた問題は再度演習することが可能で、効率よく復習することができます。

■ 生涯学習のユーキャン「IT パスポートコラム」

(https://www.u-can.co.jp/course/data/in_html/1306/column/)

「はじめてのユーキャン」や「チャレンジユーキャン」でお馴染みの通信教育企業「ユーキャン」による、i パスについて解説したコラムのまとめサイトです。具体的には、i パスの難易度や合格率、試験日などの試験の概要についてのコラムや、i パスの学習方法・学習時間についてのコラムがあります。初めて i パスを受験する方は、この「ユーキャン」のまとめサイトをチェックしておいて損はないと思います。

■ スマートワーク総研 1 分でわかる IT 用語集 (<https://swri.jp/glossary/>)

IT に関する最新技術やキーワードについて、1 分間で読めるように短くまとめられた Web サイトです。最新の IT 技術に関する大まかな知見を得られるので、最新の IT 技術について出題する傾向がある i パスの試験対策にもなります。移動時間や隙間時間に、本サイトで学習してみるのもオススメです。

2-4. その他

iパスの学習を進める上で、他にも役立つツールを紹介します。

■ 基本情報技術者試験(FE 試験)の教科書・過去問題集

基本情報技術者試験は i パスと同じく情報処理技術者試験仲間で、レベル 1 の i パスより上位のレベル 2 にあたる試験です。FE 試験では、特にプログラムのアルゴリズムに関する問題が多く出題され、IT 知識についてのより深い理解と高い実践力が求められます。i パスを取得した方や i パスの問題よりも難しい問題を解きたい方は、ぜひ FE 試験の教科書や過去問題集に挑戦してみましょう！自分の力をさらに伸ばすチャンスになるかもしれません。

■ IT パスポート試験の試験対策用アプリを使った学習

近年、スマートフォンを対象に i パスの試験対策用アプリケーションが盛んに開発されています。例えば、「IT パスポート合格講座&問題集-IT すきま教室」というアプリを使えば、IT 技術の単語を説明した解説動画を視聴することや、暗記カード機能を使って単語を効率よくインプットすることが可能です[4]。他にもたくさんアプリがあるので、自分の好みや目的にあったアプリを使って効率よく学習を進めていくというのも一つかもしれません。

[4]「IT パスポート合格講座&問題集-IT すきま教室」のアプリについては、以下を参照。

Google play : https://play.google.com/store/apps/details?id=com.it_sukima.ip&hl=ja-JP

App Store : <https://apps.apple.com/jp/app/動画-全問解説の-it-パスポートアプリ-it-すきま教室/id1569330585?uo=4>

■ プログラミングに挑戦

IT 初学者の方にとっては少し高度なツールかもしれませんが、プログラミングに挑戦してみるのも一つです。i パスで、プログラミングを書く問題が出題されることはほとんどありませんが、プログラミングの理解が IT 知識の理解を深めてくれます。ここでは、初心者の方におすすめのプログラミング言語として、Python を紹介します。Python はライブラリーやフレームが豊富で、人間の目で見ても分かりやすいシンプルなコードで記述できるプログラミング言語です。さらに、プログラムを読み込むコンパイラとして Google Colaboratory (<https://colab.research.google.com/?hl=ja>)を使えば、Google アカウントを登録するだけで、環境構築なしに Python を直ぐに触ることができます。Python は誰でも始めやすく、使いやすいプログラミング言語であり、初心者の方にこそおすすめのプログラミング言語です。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

